

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

## 電波利用環境委員会 CISPR F 作業班(第 14 回)議事録(案)

日時 :平成 28 年 9 月 8 日(木) 13:30~16:40

場所 : 中央合同庁舎第7号館(金融庁)13 階 1320 会議室

出席者(敬称略):

(構成員)

主任	山下 洋治	(一財)電気安全環境研究所横浜事業所 EMC 試験センター 所長
主任代理	平伴 喜光	パナソニック(株) エコソリューションズ社 ライティング事業部 品質環境革新センター 主幹
構成員	井上 正弘	(一社)KEC 関西電子工業振興センター
	加藤 秀克	日本放送協会技術局送受信技術センター 企画部
	菅野 伸	NTT アドバンステクノロジー(株)ネットワークシステム事業本部 システム開発ビジネスユニット EMC チーム 担当課長
	橋高 大造	(一社) 電波産業会 研究開発本部 電磁環境グループ
	業天 正芳	パナソニック(株)エコソリューションズ社 ライティング事業部 ライティング機器 BU 品質管理部 主幹
	高岡 宏行	(一社)日本配線システム工業会
	中野 美隆	(一社)日本電機工業会 家電部 技術課 主任
	前川 恭範	ダイキン工業株式会社 堺製作所 空調生産本部 企画部
	三塚 展幸	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 松戸試験所 電磁環境・較正事業本部 電磁環境試験部試験グループ 主任技師

(傍聴者) 久保田氏

(事務局)

谷口 智哉	総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁監視官
柴田 由里	総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係長
酒井 健司	総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 電磁障害係

## 【配布資料】

資料14-1	CISPR F 作業班(第 13 回)議事要旨(案)
資料14-2	CISPR 杭州会議 F 小委員会 総会 対処方針(案)
資料14-3-1	電波利用環境委員会報告概要(案)(F 小委員会関連)
資料14-3-2	電波利用環境委員会報告(案)(F 小委員会関連)
資料14-4	CISPR 杭州会議 F 小委員会関連会議参加者(案)
参考資料14-1	CISPR 杭州会議 F 小委員会 WG1 対処方針(案)
参考資料14-2	CISPR 杭州会議 F 小委員会 WG2 対処方針(案)
参考資料14-3	CISPR I 作業班 構成員名簿

## 議論

(0)はじめに

- 新しく構成員となったNHK加藤構成員からの自己紹介(加藤構成員)
- 事務局から配付資料8点についての確認(柴田)

(1)前回議事要旨(案)確認【資料14-1】

- 資料14-1前回議事要旨(案)についての説明(柴田)  
※修正意見等あれば1週間以内に事務局まで連絡することで承認された

(2)CISPR 杭州会議 F 小委員会関連対処方針(案)審議

①CISPR 杭州会議 F 小委員会 総会 対処方針(案)【資料14-1】

- 資料14-2についての説明(山下主任)
  - 対処方針案のポイントは、CISPR14-1 および CISPR15 の審議である
  - AHG3 は 80/80 ルール検討のためのグループである
  - 資料の以下記載を修正する
    - ◇ 1. 3項のイタリアは中国へ修正
    - ◇ 6項の文書:CISPR/FXXX/INF を CISPR/F690/INF へ修正
    - ◇ 7. 2項の 2016-09 を 2016-08 へ修正
    - ◇ 9項の文書:CISPR/F/671/INF を CISPR/F/688/INF へ修正
    - ◇ 12項の文書:CISPR/F/672/PW を CISPR/F/XXX/PW へ修正
    - ◇ 14. 4項 TC77AWG8 は SC77AWG8 へ修正

<(2)①の質疑>

- 1. 1項について、ダイレクティブは専門業務用指針とも書いているが、どう書くのが良いか(山下主任)
  - 他資料と合わせられる範囲で合わせる(谷口)
- 1. 1項は規格に対して特許権を申告するものであるが、対処方針は「内容を確認する」で良いか(井上構成員)
  - 日本から申告する予定はないものの、他の国から申告がある可能性もある(井上構成員)
  - 他の資料では、申告すべき知的財産権の紹介という記載がある(三塚構成員)
  - 他の資料を参考に記載を修正する(山下主任)
- 7. 5項「エンターテイメント機器の要求の CISPR14-1 から CISPR32 への移管についての審議」について検討状況はどうか(山下主任)
  - 日本国内での現状の紹介はあまり無い(山下主任)
  - エンターテイメント機器は一概に CISPR14-1、CISPR32 とは言えない(前川構成員)
    - ◇ CISPR14-1、CISPR32 どちらの要素も持っている場合がある(山下主任)
    - ◇ 機器の詳細がわかるメーカーに参加してもらう必要がある(山下主任)
  - 日本として移管に意見はあるか(谷口)
    - ◇ 特にない。議論にはまだまだ時間がかかると思う(山下主任)

- 7. 6項の Fragment 2 統計的評価方法 80/80 ルールについての進捗はあるか(山下主任)
  - 4月にAhG3メンバーによるメールでの意見交換があり、Informativeにする方向で進めている(前川構成員)
    - ◇ CISPR11はInformativeになっている(井上構成員)
  - 試験サンプルを5つなど複数用意して適合性を評価するのはコストがかかるので敬遠され、1サンプルで評価している(前川構成員)
    - ◇ 1サンプルで許容値に対してマージンを確保できるなら、他のサンプルも大丈夫という考え方である(谷口)
  - 対処方針に、Informativeにする方針で進んでいるという記載に修正する(山下主任)
  - 80/80ルールをVCCIの技術基準で使用しているか(井上構成員)
  - VCCIは法的ルールではなく自主規制のため、80/80ルールがどこにあってもVCCIとしては問題ない(菅野構成員)
    - ◇ VCCIでは抜き取り試験をやっている(菅野構成員)
    - ◇ 基準値を超えた場合、基準のクリア品を最低3サンプル提出してもらうことで、抜き取り品を偶発的と見なしている(菅野構成員)
- 10. 5. 1項のPMとは何か(山下主任)
  - 対処方針に、DAに記載のあるPMとは何かを確認すると記載する(山下主任)
- 14. 1. 2項について、日本国内のサイトは問題にならないが、海外で基準に入らないところがある(山下主任)
  - 壁面にフェライトタイルを貼っていない所は基準に入らないようだ(山下主任)
  - ラージループアンテナは校正方法が無い(三塚構成員)
- 14. 5、14. 6項について、Aリエゾンは普通のリエゾンと何が違うか(谷口)
  - IECの指針に書いてあると思われる(久保田構成員)
- 対処方針のポイントについて、IPT機器の検討は昨年から進んでいないという内容に変更する(山下主任)
  - 状況を確認し、基本的には静観する(谷口)

## ②CISPR 杭州会議 F 小委員会 WG1 対処方針(案)【参考資料14-1】

- 参考資料14-1についての説明(前川構成員)
  - CISPR14-1は、FDISの投票結果を確認し、Ed.6以降の課題について審議する
  - CISPR14-2の改正作業は9月のストレージ会議で審議されなかったし、4月のロンドン会議でも審議されなかった。今回も同じ内容が審議されるとみている。
  - 次回WG1をもし日本開催で打診された場合は受け入れる方針である

## <(2)②の質疑>

- 3項について、WG1メンバーシップはWEBに出るのではないか(井上構成員)
  - 会議でコンビナーからメンバーの紹介がある(前川構成員)
  - 昨年の会議でメンバーに不整合があったので、後日、日本N.C.にて修正することになった(山下主任)
  - 対処方針は、メンバーについて確認するという記載に変更する(前川構成員)

### ③CISPR 杭州会議 F 小委員会 WG2 対処方針(案)【参考資料14-2】

- 参考資料14-2についての説明(平伴主任代理)
  - WG2 では CISPR15 の改定について審議する
  - CISPR15 の主要な変更内容を資料の(1)~(5)にまとめている

#### <(2)③の質疑>

- 5. 2項の CISPR15 の改定について、日本からは4項目の意見を発信しているとあるが、意見の内容は記載しないか(井上構成員)
  - 具体的に記載して修正する(平伴主任代理)
  - 5. 2項のローカル・ワイヤードポートは他の用語と統一するのはどうか
  - ローカル・ワイヤードポートは CISPR15 第9版で新しく出てきた言葉である(山下主任)
  - 制御線という意味ではないか(三塚構成員)
  - 単純に制御線だけではなく、負荷線も含まれている。(高岡構成員)
  - 他に書き方がないため、この記載とする(山下主任)
- 9. 2項「ITU-R から報告されている LED 電球による受信障害」の対処方針について、何か意見を用意しておいた方が良いのではないかと(井上構成員)
  - EBU が ITU-R に測定データをつけたドキュメントを出してきたが、ITU-R 側もどのように解決するかの知恵が無いため、CISPR 側に話を聞きたいという経緯がある(久保田構成員)
    - ◇ 例えば、CISPR-F としては、CISPR14、CISPR15 に問題は無いので変えない方針である、などのコメントを返して欲しいということだ(久保田構成員)
  - 以前、関東放送通信局が LED 電球による受信障害について同様のことを言ってきたことがある(平伴)
    - ◇ その件は、単体の LED 電球でも問題があった(久保田構成員)
  - CISPR の規格は、LED 電球1個で問題が無ければ100個でも大丈夫な規格ではないのか(谷口)
    - ◇ 実際は、現場とラボでは環境が異なる(山下主任)
  - 対処方針は、状況を見て対処するという記載に修正する(山下主任)

### (3)電波利用環境委員会報告書(案)について【資料14-3-1、14-3-2】

- 資料14-3-1についての説明(山下主任)
  - 報告書案のポイントは、CISPR14-1 の改定、CISPR15 の改定、及びワイアレス電力送電システムの審議である
  - ワイアレス電力送電システムの審議について、現在のところ日本としての意見は無い
- 資料14-3-2についての説明(山下主任)
  - 審議状況と対処方針を分けて記載した資料である
  - 対処方針の(ウ)の2段落目は記載が古いため削除する

#### <(3)の質疑>

- ワイアレス電力送電システムについて、修正1の審議は開始されるか(谷口)
  - 開始の予定である(山下主任)
  - 前回ストレージ会議以降の審議が無いため、日本の意見は無い(山下主任)

- 対処方針に、日本の意見を何か記載した方が良いのではないか(井上構成員)
  - 状況に応じて対応するに修正する(谷口)
  - 資料14-3-1、14-3-2を合わせて修正する(山下主任)
  - 資料修正は9月12日(月)午前中までをお願いしたい(柴田)

(4) CISPR 杭州会議 F 小委員会関連会議参加者(案)について【資料14-4】

- 資料14-4についての説明(山下主任)

<(4)の質疑>

- メンバーに久保田氏を追加いただきたい(三塚構成員)
    - 資料は事務局で修正する(谷口)
- ※メンバーについて、特に異議なく承認された

(5)その他

①F 作業班メンバーについて

- NICT の篠塚氏が退任したため、別の方を構成員に追加いただきたい(平伴主任代理)
  - NICT の後任の方が交代されると思っていたが、交代要員を出す予定はないようである(山下主任)
  - 知見を持っている方に協力をお願いしたい(平伴主任代理)
  - NICT でなくても良いか(谷口)
  - かまわない(平伴主任代理)
  - 構成員について検討する(谷口)

②今後の予定

- 今後の予定は、9月13日の電波利用環境委員会での審議がある(柴田)
- 次回会合は、事務局から構成員にメールで連絡する(柴田)

以上